

文芸

俳句

風鈴の好みの風となりにつけり
 伊藤 敬子
 新米は香りだけなり古米喰む
 今関満喜子
 古本の匂ひ懐かし夜長かな
 魚地 照子
 栗南瓜煮ると味よし笑顔かな
 鹿子木小夜子
 星月夜飾りなき部屋四畳半
 加瀬 俊昭
 億年を孤独のひかり望の月
 川島 通則
 子蟻螂高みに上り鎌かざす
 向後 寛
 巣離れにつかず離れず親つばめ
 越川せつ子
 朝霧やヘッドライトが迫り来る
 小松 藤男
 落蟬や一週間の夢のあと
 佐瀬 輝夫
 新蕈の匂い立ちくる暮れの道
 土屋美枝子

男たち裸族のやうに涼みけり
 土屋 義昭
 初秋へと朝夕の風変り来る
 内藤 くに
 青柿や男の子の会釈はつらつと
 早川 勇
 蝸の悲しきまでに澄める声
 藤田 雅夫

短歌

身長は吾を越えるのが目標らし
 女孫寄り来てにんまりとする
 押尾 輝子
 日に焼けし七十八歳の尾島さん
 二歳児救い笑顔頼もし
 齊藤 博
 地球へと大接近の火星なり
 朱く光るを三夜眺めり
 田崎 尚美
 白百合の花に飛び来て目の前を
 紋白蝶のせはしく動く
 鈴木まさ子
 稲妻の光る方角雷鳴の
 轟きくるを怖こわと聞く
 浅野 榮子
 語り部の話す戦争体験を
 児等みじめだと口ぐちに言う
 加瀬 弘子
 記録的な猛暑続きて稲の穂は
 鮮やかなりし黄金の色に
 水須 俊
 欠けし歯は上顎右側第二小臼歯
 根は大丈夫と医師に言われる
 椎名美枝子
 おばあちゃんのお庭に咲いてる向日葵と
 女孫が多に持ち来てくれる
 齊藤つね子
 やがて地に朽ちゆくまでの華やきを
 保ちていちよう緑一色
 越川 義則
 五月から手塩にかけた夏野菜
 潮風をうけ実りはうすし
 西崎さち子
 ……
 共に見る納涼会の盆をどり
 車椅子の姑も手拍子をする
 西山満里子
 再会を果せず歌友の終の便り
 読み返しるる盆の夕べを
 芹川 初子

作品展

- ◎町民会館ミニギャラリー
 10月 やまぶき書星会
 11月 展示なし
- ◎文化会館ロビー展
 10月 展示なし
 11月 展示なし
- ◎銚子商工信用組合展
 10月 展示なし
 11月 展示なし
- ◎カスミ展示コーナー
 10月 横芝写真クラブ
 11月 展示なし

消費生活 なび

NO.102

不審なはがき・メールは無視してください

「行政機関のようなどころから債権を請求するはがきなどが届き、連絡をしないと法的手段を取る」、「大手通販業者から料金未払いがあるとメールが届いたが、見覚えがない」などの相談が多く寄せられています。

これらは、公的機関や実在する会社名をかたり、無差別に送られてくる架空請求であり、連絡してしまうと個人情報聞き出され、お金を請求されることがあります。

また、一度支払ってしまうと度々請求を受けることがありますので、絶対に連絡をせず、そのまま放置してください。

(参考) 暮らしの豆知識

問 消費生活相談室(産業振興課内) ☎84-1233

消費生活相談所開設日 毎週火曜日
 午前10時～午後4時

